



Weねっと



【103号】

和歌山県介護支援専門員協会 西牟婁田辺支部
〒646-0028 田辺市高雄1丁目23-1
(田辺市田辺地域型地域包括支援センター内)

令和5年度
3/8号

TEL 0739-26-9906 FAX 0739-25-3994
e-mail hokatu@city.tanabe.lg.jp

《定例研修会》

『排泄ケアの知識』～高齢者によくみられる疾患の特徴と連携のポイント～

講師：小村隆洋 医師（医療法人 裕紫会 中谷病院）

令和5年8月8日、14：30～16：00まで上富田文化会館で開催されました。

始めに、排泄は人間の生きるために必要な行為で一番見られたくない行為であること。排泄の自立は尊厳の保持につながることの重要性を話して頂きました。

一連の排泄行為を観察し排泄トラブルの原因を探り、忘れた人には再獲得してもらえるような医療・看護・介護を実践していく事が大切である。また尿路について基本的な構造を学んだ上で高齢者によくみられる疾患について分かりやすく説明して頂きました。夜間頻尿や尿失禁、その中でも溢流性尿失禁は命にかかわることもあり見逃さないように（＊下腹部（膀胱部）がふくらんでいる＊尿が溢れてもれてしまう＊前立腺肥大症の病気があるなど）お腹を触る事が大切。排尿困難（前立腺肥大症 他）では自排尿の自立を目指すのが合併症のリスクやカテーテル交換が必要となる。間欠導尿は患者自身による自己導尿で家族の場合は同居が必要で、訪問看護による介助導尿では回数が限られてくる。間欠導尿が望ましいが実際にする患者・家族は大変である。尿道留置カテーテルは出来れば抜去を検討していく事が望ましいことなど講義いただきました。

また、最後にオムツについてのお話がありました。オムツ内の状況・なぜオムツをしているのか。オムツ排泄は褥瘡発生リスクのひとつであること。オムツは誰のためにあるのか、生活全体から排泄を見直していく。オムツの使用により尊厳を失うこと、排泄の自立は尊厳の保持につながることを強く講義で感じ取ることが出来ました。

大変学びの多い研修となりました。

■共催事業のお知らせ

令和5年度在宅医療・介護連携推進事業 医療と介護の専門職向け研修会

内容：講演「認知症爆発の時代を迎える日本」

講師：小野 道夫先生（からし種在宅クリニック 物忘れ外来 担当医）

日時：令和5年10月28日（土曜日） 14：00～16：00

場所：和歌山県立情報交流センター Big-U 多目的ホール

参加費：無料（定員200名）



事務連絡

◆Weねっとをはじめとする事務局からの連絡事項は、原則FAXにて行ないます。

その際、以前に送付確認させて頂いた宛先（事業所等）に送信いたしますので、その後は確実にそれぞれの会員のお手元に届くよう事業所内でご配慮お願いいたします。

※送付先変更等は随時、お知らせください。

※たくさんの方が会員になっていただくことで、協会の運営基盤が強化され、研修開催や意見の発信をしていく等の活動が支えられています。お近くに、入会されていない介護支援専門員さんがおられましたら、入会の声掛け、よろしくお祈りします

(9月8日現在 西牟婁田辺支部会員数 181人)